

区民との温もりのある 縦と横の絆を求めて!!

自民党豊島区議団

平成二十八年、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、本年も区民の皆様のお一人おひとりが健やかに充実した日々を過ごされましますよう、心よりご祈念を申し上げます。

さて、我々自民党豊島区議団は、昨年四月の統一地方選挙におきまして、高野之夫区長を支援しつつ、党新人議員四人と無所属新人議員一人を含む、計十四人の会派を結成する事が出来た。引き続き区議会最大会派として全力で区政に取り組みたいと決意でございます。

昨年は、大東亜戦争終結後七十年という事で多くの日本人が哀悼の誠を捧げた一年でした。天皇、皇后両陛下は、戦没者慰霊の為バラオ共和国をご訪問され、日本軍約一万人が犠牲になった激戦地ペリユー島で日米双方の慰霊碑に追悼の祈りを捧げられました。また、安倍首相は「内閣総理大臣談話」を発表し、先人や遠い将来の子孫の代における日本の名譽を案じ、「私たちの子や孫、そしてその

先の世代の子どもたちに、謝罪を続ける宿命を負わせてはなりません」と「縦の民主主義」(G・K・チェスタトン)に「しっかりと触れています。また、日本列島が大いに沸いた年でもありました。ノーベル医学・生理学賞で北里大学特別栄誉教授の大村智さん、ノーベル物理学賞で東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章教授と、日本人の二日連続の受賞。ラグビー・ワールドカップでの日本の活躍。三菱航空機が開発した国産初のジェット旅客機「MRJ」の初飛行の成功等です。一方、国内外で一般住民を不安と恐怖に陥れる事件も数多くありました。マンション傾斜問題と杭打ち施工のデータ改ざん問題等や、飲食店や劇場、サッカー競技場などで起きたパリ同時多発テロ等です。

我々自民党豊島区議団は、区民の皆様への命と財産を守り、日々安全・安心して暮らせるべく、全力で区政に取り組んでおりますが、中でも、頑強な防災拠点となる新庁舎の完成に尽力

出来たことは喜ばしく、且つ区民の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。引き続き旧庁舎跡地の有効利用を次なる区政改革の千秋もとのチャンスと捉え、賑わいとおもてなしのまち、誇りを持って働けるまち、住みたい・住み続けたいまち豊島区を築けるように努めてまいります。もともと、本区の財政状況は、二十三区の中で未だに低いレベルにあり、今後も行財政改革の必要性は変わりませんし、その一方で、国際アート・カルチャー都市としての推進を始め、福祉・健康、教育、文化、都市再生、環境、そして産業振興等の諸分野で、区民生活に密着した課題が山積しているのが現状です。今後も高野区長への揺るぎない支援を通じて、これら山積した諸課題について、財政規律を維持しつつ区民生活のなお一層の向上につながる諸施策を、既成概念にとらわれないこと、大胆に展開してまいります。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

豪華劇場より、くらし 最優先の豊島区に

日本共産党

新年あけましておめでとうございませう。

昨年、安倍自公政権は違憲立法の戦争法(安保法制)を強行しました。これに国民一人ひとりが戦争法廃止を求めて声をあげ立ちあがるといふ、新たな運動が広がっていることは日本の未来にとって大きな希望です。日本共産党は戦争法廃止の一点で一致するすべての政党・団体・個人が共同する国民連合政府の実現をめざし、来たる国政選挙をたたかいます。

今、区民のくらしは、増税や社会保障切り捨てなどによる相次ぐ負担増で、ますます深刻です。区政が最優先に取り組みべきことは、各種保険料引き下げ、特別養護老人ホーム等の施設増設、認可保育園増設による待機児の解消、防災対策の強化、公営住宅の増設、商店街支援など区民を応援する施策の拡充です。

ところが区長は、旧庁舎跡地と公会堂の土地を民間企業に貸して、税金を投入して「8つの劇場づくり」を進めています。また、改革する西武鉄道ビルに接続する東西デッキを具体化するなど、区民無視、大企業優先の大規模開発に莫大な税金をおうとしています。

日本共産党は暴走区政と対決し、くらし最優先の豊島区を実現するため全力をつくします。

府の実現をめざし、来たる国政選挙をたたかいます。

今、区民のくらしは、増税や社会保障切り捨てなどによる相次ぐ負担増で、ますます深刻です。区政が最優先に取り組みべきことは、各種保険料引き下げ、特別養護老人ホーム等の施設増設、認可保育園増設による待機児の解消、防災対策の強化、公営住宅の増設、商店街支援など区民を応援する施策の拡充です。



武さとる



渡辺くみ子



小林ひろみ



森とおる



垣内信行



清水みちこ



村上宇一



星京子



松下創一郎



細川正博



本橋弘隆



磯崎一昭



里中郁男



河原弘明



芳賀竜朗



藤澤愛子



吉村辰明



竹下ひろみ



池田裕一



有里真穂



藤本きんじ

新年を語る

会派等の抱負

幹事長 副幹事長



一人ひとりが輝き活躍 できる豊島を目指して

公明党

新しい年を迎え、謹んでご祝詞を申し上げます。昨年は豊島区議会議員選挙が行われ、公明党は新人1名を含む8名全員の当選をいただき、決意も新たにスタートしました。

また新庁舎が完成し、最新鋭の総合防災システムを運用する中、区民と来街者の安全確保に向け、災害に負けない街づくりに全力を挙げてまいります。

東日本大震災から5年を迎えますが、首都直下地震の切迫性や区内4割に及ぶ木密地域改善のため、不燃化に向けた街づくりを加速化させ、防災基盤の整

備を着実に進めてまいります。公明党にとって結党の淵源ともなった豊島公会堂は今年2月でその役目を閉じます。旧庁舎跡地の活用は、公会堂の跡地も含まれ、持続発展都市を確実なものとするため新たな文化の拠点、国際アート・カルチャー都市づくりを推進してまいります。

また困難を抱えているひとり暮らしの親家庭など、親支援と子ども支援を一層充実させ、保育所待機児童解消とともに、住みやすい豊島を目指してまいります。

公明党が実現を強く後押ししてきた18歳選挙権が実施される

見込みです。新たに3千人を超える有権者が誕生し、未来を担う若者の政治参加が広がる意義は極めて大きいと言えます。若者が政治や議会を身近に感じ、関心を持たれるよう一層の議会改革に取り組んでまいります。

公明党区議団は、一つ一つの政策についてより身近に感じ合いたただけるよう、地道に語り合い、情報を発信していく事が大事だと考えています。今後も生活と区政を結ぶ直接ルートとして、信頼と期待にお応えできるよう努力してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

新しいステージで、
更に羽ばたく
豊島区へ!

刷新の会

子育てママ・パパ
への直接支援制度
の充実を!

無所属元気の会

未来を見据えた施
策を今年も発信し
続けます!

社民党



高橋佳代子



西山陽介



島村高彦



西川陽介



中島義春



山本みち



木下ひろ



根岸光洋



知生ふるぼう



小林弘明



石川大我

謹賀新年。本年も区民の皆様と共に汗し、真に是非々々で行動します。議会改革はもとより子育て世帯への分厚い支援、更なる高齢者等の福祉の充実に向け、全力で発言してまいります。

あけましておめでとうございませう。お母さんお父さん達が充実したライフスタイルを送れるよう、待機児童対策と併せ、子育てママ・パパに焦点をあてた施策推進も注力してまいります。

新年あけましておめでとうございませう。「小さな声が区政に届く街」「LGBTなどの多様な性力にかなえる、寛容で豊かな街」豊島区を創るため、今年も皆さんと共に歩んでまいります。